

川上ダム通信

2016

3

月号



Vol. 126
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索

ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

万一の事態に備えて 消防訓練と救急救命講習を実施

2月17日(水)、伊賀市消防本部南消防署の方々を講師にお招きし、消防訓練と救急救命講習を実施しました。

消防訓練では、避難訓練、通報訓練、消火訓練を実施しました。通報訓練では、実際に消防署へ電話をかけるところまで行いましたが、消防署からもいろいろ尋ねるので冷静に対応することが大事だと助言をいただきました。また消火訓練では、消火器の種類と特性、適切な使い方と効果的な消火方法を教えていただき、水消火器を使って実地訓練を行いました。特に火事を発見したら大きな声で周りに知らせることが重要であるとのアドバイスを受けました。

その後の救急救命講習では、実際に救急救命措置が必要となった事態を想定し、心臓マッサージ及びAED(自動体外式除細動器)を使用した実習を行いました。心臓マッサージは救命措置の大事な行為の



消火訓練の様子

ひとつで、救急隊が到着するまで止めないように継続することが重要であること、また、AEDは自動音声の指示に従えばだれでも簡単に使えることを学びました。

最後に講師から、東海・東南海・南海地震をはじめとする大規模災害の発生に備えた準備と心構えの講話があり、災害時の集合場所や連絡手段などを家族と普段から情報共有しておくことが重要との話があり、大変参考となる内容でした。

川上ダム建設所では、万一の事態にも冷静に行動できるよう、定期的にこのような訓練を実施して防災意識の向上に努めて参ります。



心臓マッサージとAEDの実習

【総務課 木村数也】

工事進捗 ～付替県道青山美杉線～

現在行っている付替県道青山美杉線の工事について進捗状況をお知らせします。工事場所は、右の図にある「工事区間」のところで、長さ約350mの道路をつくっています。

この工事では、土を盛り上げて道路をつくる区間と、土を切り取って道路をつくる区間に分かれており、工事に着手する前と現在（平成28年2月）の写真と比較してみると、道路の形が少し？わかる感じがしてきました。



土を盛り上げる区間の状況

土を盛り上げていく区間では、道路ができる高さまで補強土壁^{ほきょうどへき}と呼ばれる壁を建てて、土を盛り上げていきます。壁は岩盤の上に基礎を作る必要があるため、現地では表面の軟らかい土を取り除く作業をちょうど終えたところです。これからは壁を建て土を盛って締め固めるという作業を繰り返して、道路となる高さまで土を盛り上げていきます。日々変わっていく工事現場ですが、次に紹介できる時はどんな状況になっているのでしょうか。

【工事課 飯島芳則】

※工事の進捗は、川上ダムホームページでも掲載しています。こちらをご覧ください。

初瀬街道 ～阿保宿と用水路～

初瀬街道は、松阪市の六軒と桜井市の初瀬とを結ぶ街道です。阿保宿は初瀬街道の宿場町の一つで、江戸時代にはお伊勢参りの通行人でたいそう賑わっていたそうです。

この街道をよく見ると、阿保宿を東西に貫く道の両側に用水路が流れています。

この水路には、水がとうとうと流れ、主に水田の灌漑や防火用水の役目で使われています。

その昔は野菜を洗ったり、網に入れて里芋の皮むき、夏場は打ち水、旅館などでは屋敷に水を引いて鯉を放っていたそうで、生活に欠かすことの出来ない水路であったそうです。



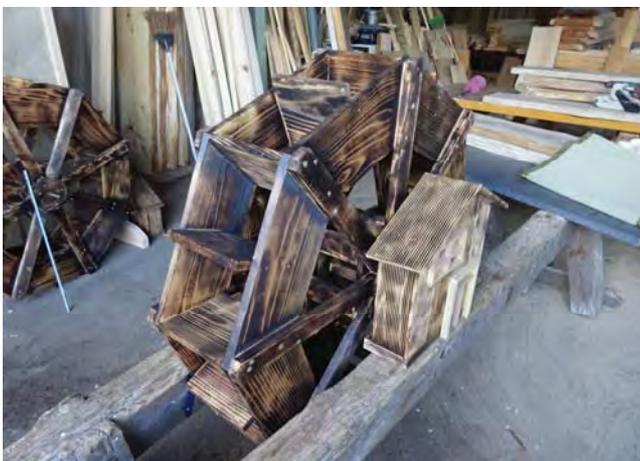
阿保の市街を流れる水路



水路脇の洗い場

平成28年3月6日(日)には阿保宿周辺で、阿保地区住民自治協議会主催の「第11回初瀬街道まつり」が行われます。まつりでは、昔使われていた水車を再現するそうです。青山支所前のイベント広場では、青山太鼓、西宮本獅子舞、青山中学校吹奏楽コンサートなどがあり、この他にも初瀬街道散策ウォークやスタンプラリー、駕籠かき体験、顔出しパネル、阿保宿旧旅館の暖簾展示、懐かしの初瀬街道写真展などがありますので、まつりで往時に思いを馳せながら旅人氣分を味わってみてはいかがでしょうか。

【第二用地課 古川直史】



初瀬街道まつりの水車



旅人氣分を味わうならこれ！

陶芸家気分を満喫！ ～伊賀焼の陶芸教室に行きました～

土の風合いが魅力の伊賀焼の食器や茶陶は、料理人や茶人にも好まれ、多くの人がお気に入りの伊賀焼を求めて窯元や陶器市を訪れています*。

「せっかく伊賀に勤めているのだから、地元の伝統文化に触れてみよう！」と思い立った記者4名と記者の子供3名で、伊賀焼の里といわれる伊賀市丸柱にある伊賀焼伝統産業会館の陶芸教室に行きました。

お世話になった陶芸教室には、手回しのろくろを回して作るコースや電動ろくろを回して作るコース、皿またはカップに絵付けをするコースがあり、今回は手回しのろくろを回して作るコースを選択しました。

はじめにどのようなものを作りたいかを陶芸家の先生に伝え、お手本を見せていただいたうえで、各自、思い思いの作品を仕上げていきました。創作中は集中のあまり、まるでカニを食べている時のごとく、無言での



焼き上がりは次号で紹介！



創作中！（みんな無言で集中しています）

作業となりました。途中で形が崩れてしまったものの、先生の絶妙な整形により、なんとか復活するといった場面もみられました。みなさんも、伊賀焼きで自分だけのオリジナル作品を創ってみませんか？

※三重県観光キャンペーンエリアパンフレット
実はそれぜんぶ三重なんです！ Vol.6 伊賀編
（三重県観光キャンペーン推進協議会事務局）

【環境課 廣瀬真由】

訂正

2月号の記事に誤りがありましたので訂正いたします。
ダム用語集のタイトルが「ダム用語集 #5 ロックフィルダム」となっていましたが、
正しくは「ダム用語集 #7 ロックフィルダム」でした。次号以降「#8」から続きます。

イベントのお知らせ

伊賀上野・城下町のおひなさん

開催日 2月20日（土）～3月3日（木）
開催場所 伊賀市上野本町通り周辺
主催 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会

第11回初瀬街道まつり

開催日 3月6日（日）10:00～15:00
開催場所 初瀬街道阿保宿周辺
主催 阿保地区住民自治協議会

編集後記

今回、初瀬街道のことを記事にしよう和阿保地区市民センターを訪ねて、初瀬街道まつりの実行委員の皆様、阿保地区の地元の方々に初瀬街道にまつわることを丁寧に教えて頂き記事を書くことが出来ました。編集後記に添えて御礼申し上げます。阿保地区の益々のご発展とまつりの成功を心よりお祈り申し上げます。

【広報誌発行事務局】

編集長 加納（所長） デスク 梅村（総務課長） 小谷口（工務課長兼工事課長）
記者 山下（総務課） 本山（第一用地課） 古川（第二用地課） 藤本（調査設計課） 廣瀬（環境課） 日隈（工務課）